

開 催 結 果

会 議 名 称	令和８年度第１回稲美町都市計画審議会
開 催 日 時	令和８年５月２９日（金）１３時３０分から１４時３０分
開 催 場 所	稲美町役場本館３階 ３０３会議室
出 席 者	<委員> 小川 一茂、長野 真紀、坂本 英正、福嶋、義久、林 完次、本岡 秀己、小笠 竜広、辻本 浩司、川端 忠則、森玉 芳明、大村 信介、川下 光仁、古川 すみれ、下阪 義信 <傍聴者> なし <事務局> 地域整備部 部長 都市計画課 課長、係長、事務員
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	１．開会 ２．町長あいさつ ３．委嘱状の交付 ４．議題 【報告事項】 （１）東播都市計画道路の変更（兵庫県決定）について （２）用途地域の定期見直しについて （３）東播都市計画下水道事業の変更（町決定）について ５．その他
審 議 結 果	４．議題 【報告事項】 （１）東播都市計画道路の変更（兵庫県決定）について （事務局）令和８年度末に東播都市計画道路二見稲美三木線（国岡バイパス区間）の都市計画決定の変更を行う旨の内容について説明。 （委 員）完了目標が令和１５年ということであるが、都市計画道路のどの部分か。 （事務局）天満大池バイパスと国岡バイパスの区間である。 （委 員）都市計画道路の変更によって周辺の都市計画区分や用途地域に変更は生じるのか。 （事務局）国岡バイパスの区間においては、変更が生じる予定はない。

	(委 員) 主要地方道宗佐土山線の歩道や自転車道路が未整備である問題解決のためのバイパス道路ということだが、渋滞緩和などシミュレーションはしているのか。 (事務局) 渋滞緩和等も問題を含めて解消し、早期に道路が整備されるよう県に要望している。 (委 員) 天満大池バイパスと国岡バイパスについては同時供用開始予定なのか。 (事務局) 同時供用を目指すと言っている。 (委 員) ため池を埋め立てる部分が生じるため、池の機能の確保、排水機能を維持しながら道路計画をしてほしい。 (事務局) 適宜、管理している土地改良区とも協議しながら進めていくよう県に伝える。 (2)用途地域の定期見直しについて (事務局) 町内の市街化区域内に指定されているに用途地域について、県の定期見直しのサイクルに合わせ、見直しの基本方針を策定するとともに土地利用と用途地域等との乖離がある箇所について課題を抽出し、用途地域の見直しを行うか検証する旨を説明。 (委 員) 役場西の工業跡地の用途地域を変更するということか。 (事務局) 土地所有者の意向もあるがどのような用途地域が望ましいか、また、今回の用途地域の定期見直しで変更するか、個別に変更していくのか、変更の時期も含めて今後県と協議していく。 (委 員) 工場が無いのに準工業地域の用途地域は適切なのか、商業施設の立地が予定されているのであれが、近隣商業地域の用途地域が適切ではないか。 (事務局) 土地所有者に変更が無いため、遠い未来に工場が再度立地する可能性も無いわけではない。しかしながら、町としても周囲に第1種低層住居専用地域や第1種住居地域が多く、近くには近隣商業地域が指定されているため、用途地域のバランスを考えていく必要がある。また、準工業地域は工場跡地のみではなく、道路の対側側も含んでの用途地域であるので、工場跡地の利用のみで用途地域を変更することは慎重になるべきと考えている。
--	---

	(3) 東播都市計画下水道事業の変更（町決定）について （事務局）令和 8 年度末に町の集落排水事業区域を公共下水道事業区域へ変更する都市計画決定の変更を行う旨の内容を説明。 （委 員）現状はどうなっているのか。 （事務局）各集落排水区域にクリーンセンターがあるため、クリーンセンターに集めて処理している。 （委 員）現状のままだと何かいけないことがあるのか。 （事務局）これから人口が減ってくると、維持に多額の費用がかかるため、施設の広域化共同化として統廃合を進めている。 （委 員）過去に民間開発をしたところで、地域で開発団地の汚水処理を行っているところがある。それらの区域は今回公共下水道区域に編入できないのか。 （事務局）次回以降の都市計画審議会にて、担当課を出席させ詳しい説明を行う予定である。その際に回答したい。 5. その他 ・ 他の事業など （事務局）土地利用調整基本計画、特別指定区域の指定、播磨臨海地域道路、稲美北東部地区土地利用など、今年度予定している事業のスケジュールを報告。
--	---